海上自衛隊
先任伍長経験者採用のご案内

海上幕僚監部
人事教育部援護業務課

令和7年4月製作

1　先任伍長経験者の採用のメリット

海上自衛隊の先任伍長は、部隊の要として組織の統率・人材育成・業務改善を担ってきたプロフェッショナルです。高度なリーダーシップと現場管理能力を備え、さまざまな環境下で人と組織をまとめる役割を果たしてきました。

先任伍長経験者の採用メリット
・企画力と実行力で現場をマネジメントする即戦力
・奉仕の心を通して組織の結束力を高め、チームの士気を向上
・企業の成長を支える人材育成に貢献

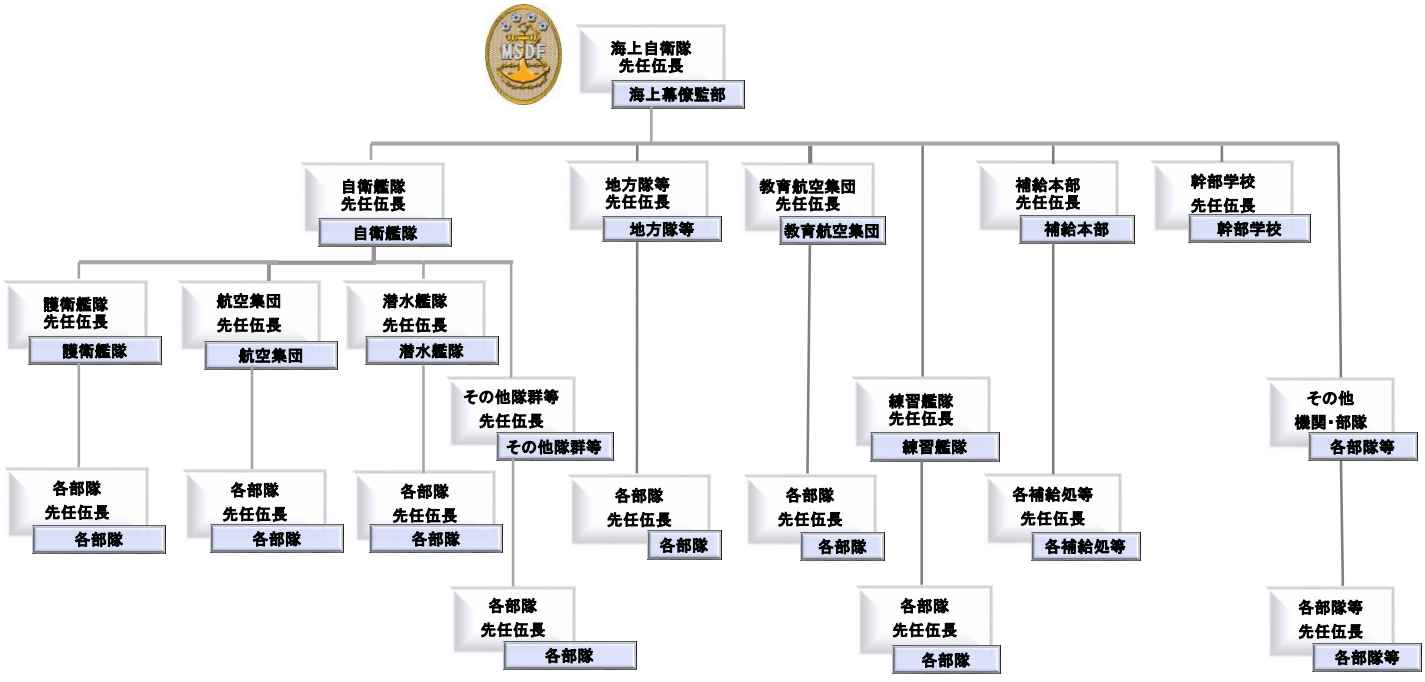
「人と組織を束ねる力。貴社の戦力として活かしませんか？」

2　先任伍長制度

先任伍長とは、各部隊・機関の海曹（下士官※）・海士（水兵※）をとりまとめ指揮官（艦長等）を補佐することで、部隊の規律を維持し、チームワークを高め、組織の統率と人材育成を担う役割を果たす配置です。

この役割に選ばれるのは、責任感・協調性・規律・実行力・統率力・指導力において特に優れた人物のみです。約30,000名もの海曹・海士隊員の中から、約300名のみが先任伍長として選任され、能力・人格の両面において海上自衛隊の組織を牽引しています。

※　他国の軍隊において一般的に使用されている用語



3　先任伍長の主な役割

規律の維持（現場マネジメント力）

　部下の状況を把握し、世代を超えた対話を通じた適切な指導を行うことで、組織の規律と業務効率を向上

団結の強化（組織の結束とエンゲージメント）

　組織の方針を部下に伝え、現場の状況を管理職層へフィードバックし、円滑な情報共有を実施

士気の高揚（チームのモチベーション管理）

　競技会や部隊行事の企画・運営を通じて、チームの士気を高め、積極的な組織文化を醸成

各部隊間の連携強化（組織横断的な情報共有）

　先任伍長ネットワークを活用し、部隊内外の連携を強化

人事業務への助言（人材マネジメント）

　組織の人材配置や育成に関する助言を行い、最適なチーム運営をサポート

　その他、海上自衛隊の先任伍長は、全国規模でのリーダーシップ研修や他国軍との交流も担当し、高度なリーダーシップと組織管理能力を養っています。

海上幕僚長との懇談

部下への教育

先任伍長予定者への教育

現場での技術指導

他国軍との交流

4　企業様の声

株式会社エヌ･エス･アール
ビジネスサポート部長　関　秀之　様
（海上自衛隊先任伍長経験者）

現在、防衛関連企業の「契約事務業務」と「基地等への立入申請業務」を担当するビジネスサポート部のマネージャーを務めております。最初は慣れない環境に戸惑いもありましたが、自衛隊で重視してきた「見て見ぬふりをしないこと」や「傾聴する」という姿勢を持ち、積極的に業務に取り組むことで、社員の一員として勤務できるようになりました。

また、先任伍長時代の部下との対話の経験を活かし、社員に対して「真心をもったサポート」を行い、風通しの良い人間関係作りにも努めています。

今後も官民の相互理解を深める架け橋の役目を果たしていきたいと考えております。

略　歴
昭和62年4月　海上自衛隊入隊
　以後、補給員として勤務
平成24年6月　艦船補給処先任伍長
平成25年9月　横須賀地方隊先任伍長
平成27年6月　海上自衛隊先任伍長
令和2年 1月　護衛艦いずも
令和3年11月　統幕最先任
令和5年 6月　定年退官
　　株式会社エヌ･エス･アール入社

株式会社エヌ･エス･アール
代表取締役社長 松村 義弘　様

当社は国家安全保障分野のコンサルティング業務およびアウトソーシング事業を展開しており、関さんにはアウトソーシング部門のリーダーとして、業務内容や契約に関するお客様との調整、社員の仕事の分担やスケジュールの決定、進捗管理などのマネジメント業務に従事いただいております。

近年、リモートワークの普及などにより周囲とのコミュニケーションが希薄になりがちですが、関さんは日々の挨拶をはじめとして、社内外問わず常に周囲と会話することを実践しています。関さんが長年の自衛隊生活と先任伍長としての経験を活かし、社員一人一人に寄り添うことで、各社員が以前よりチームワークを意識し、一丸となって業務に取り組めるようになりました。

今後も、関さんが、会社の業務だけではなく、自衛隊のため、地域のために活動を続けることを、会社として支えていきたいと考えております。

５　採用をご検討の企業様へ

採用プロセスやご相談については、お気軽にお問い合わせください。
防衛省　海上幕僚監部　人事教育部　援護業務課　援護企画班
TEL（直通）03-5229-2188

https://www.mod.go.jp/msdf/formal/engo/